

小・中学校道徳教科書の傾向分析
—令和5年度まで使用の教科書データに基づいて—

範 蘭心（東京学芸大学）

1. はじめに

小学校では平成30年度から、中学校では平成31年度から、検定教科書の使用による「特別の教科 道徳」が開始された。教科書には一冊ごとに年間授業時数に見合う約35の教材が掲載され、その教材ごとに道徳の内容項目と道徳性の観点(学習指導要領が示す諸様相)に応じたねらいが示されている。柄本・永田(2013)は道徳副読本の実態研究を行い、道徳副読本のデータに基づく授業の計画・実施や、内容項目間での掲載量にばらつきがあるなどの知見が得られた。元・布施・柄本・永田・松尾(2019)は、平成30年度版の小学校用道徳教科書と平成31年度版の中学校用道徳教科書のデータ傾向分析を行った。当時使用された道徳教科書の実態が把握でき、従来の副読本との変化が示された。なお、小学校は令和2年度から、中学校は令和3年度から改訂教科書の使用が始まった。この改訂教科書に関する詳細な分析はまだ見られないため、本研究は、令和5年度段階にて使われている小・中学校の改訂教科書データ等を分析することを目的とした。

2. 研究方法

■分析対象

令和5年度までに使用された令和2年度版小学校用道徳教科書(全8社)と令和3年度版中学校用道徳教科書(全7社)に掲載されている計2,413件の教材を対象とした。

■分析内容

内容項目の分析 学習指導要領に基づいて、「特別の教科 道徳」における内容項目が教科書で取り上げる各教材でどのように扱われているかという観点から、小学校と中学校に分けてその傾向を分析した。

ねらいにあらわれた道徳性の観点の分析 柄本・永田(2013)と元他(2019)の「道徳性の観点」を基に分類を行った。

複数掲載教材の分析 各教材の掲載回数を機械的にカウントし、掲載傾向を分析した。

3. 結果・考察

(1)ねらいとする内容項目の分析

学校・学年ごとの内容項目数の傾向を検討するために、クロス集計を行った。各学年における内容項目の順位を1~3位まで取り上げた(表1)。小学校2年生から中学校3年生まで、「生命の尊さ」内容項目がすべて一位で、その内容の重点化を図る傾向が強くみられる。また、中学校段階では「友情・信頼」が上位になり、いじめの課題への対応に重心をかける傾向がみられる。

表1 小中学校における内容項目の順位

| | | 1位 | 2位 | 3位(同率含む) |
|-----|----|----------|--|--|
| 小学校 | 1年 | A 節度, 節制 | D 生命の尊さ | B 親切, 思いやり |
| | 2年 | D 生命の尊さ | A 節度, 節制 | B 親切, 思いやり |
| | 3年 | D 生命の尊さ | C 規則の尊重 | A 善悪の判断, 自律, 自由と責任 |
| | 4年 | D 生命の尊さ | B 親切, 思いやり | C 規則の尊重 |
| | 5年 | D 生命の尊さ | A 希望と勇気, 努力と強い意志 C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 | |
| | 6年 | D 生命の尊さ | A 希望と勇気, 努力と強い意志 C 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度 | |
| 中学校 | 1年 | D 生命の尊さ | B 思いやり, 感謝 B 友情, 信頼 | |
| | 2年 | D 生命の尊さ | B 友情, 信頼 D よりよく生きる喜び | |
| | 3年 | D 生命の尊さ | D よりよく生きる喜び | A 自主, 自律, 自由と責任 B 思いやり, 感謝 B 友情, 信頼 C 遵法精神, 公徳心 |

(2) ねらいにあらわれた道徳性の観点の分析

学校・学年による観点の変化を検討するために、クロス集計を行った(表2)。全体的な傾向として、小・中学校で共通して「心情」・「意欲」・「態度」が多く見られた。前回(元他, 2019)と比べると、「判断力」がやや増えてきた。「心情」は小学校においてかなり増えてきたが、中学校においては前回より減ってきた。「習慣化」は小学校において大幅に減ってきたが、中学校においては前回と同様、抽出されていない。「意欲」「態度」「認識・理解」「複合」「その他」は前回とあまり変化がなかった。

表2 主題のねらいで取り上げられる道徳性の観点

| 分類 | 小学校 | | | | | | | 中学校 | | | |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計 | 1年 | 2年 | 3年 | 合計 |
| ア 判断力 | 17 | 26 | 18 | 21 | 14 | 16 | 112 | 25 | 18 | 16 | 59 |
| イ 心情 | 132 | 123 | 125 | 125 | 110 | 106 | 721 | 71 | 76 | 76 | 223 |
| ウ 意欲 | 46 | 46 | 52 | 52 | 58 | 53 | 307 | 46 | 51 | 48 | 145 |
| エ 態度 | 37 | 47 | 58 | 58 | 56 | 61 | 317 | 46 | 61 | 76 | 183 |
| オ 認識・理解 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| カ 知的追究 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 |
| キ 自覚 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| ク 実践力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ケ 習慣化 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| コ 複合 | 38 | 34 | 23 | 21 | 40 | 34 | 190 | 58 | 39 | 29 | 126 |
| サ その他 | 1 | 4 | 3 | 3 | 2 | 7 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 272 | 280 | 280 | 280 | 280 | 280 | 1672 | 247 | 247 | 247 | 741 |

(3) 複数掲載教材の分析

掲載回数の多い教材名を表3に示す。小学校の場合、全8社の教科書に掲載された教材は「かぼちゃのつる」「はしのうえのおおかみ」「あめのぼすていりゅうじょで」「はなさきやま」の4つである。中学校においては、全7社の教科書に掲載された教材は、「たびのきせつ」の1つである。

表3 掲載回数の多い教材名

| 低学年 | 小学校 (5回まで) | | 中学校 (4回まで) |
|--|--|--|--|
| | 中学年 | 高学年 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・かぼちゃのつる(8) ・はしのうえのおおかみ(8) ・およげないりすさん(7) ・にわのことり(7) ・きいろいべんち(6) ・きんのおの(6) ・ぐみのきとことり(6) ・ななつのほし(5) ・はむすたあのかちゃん(5) | <ul style="list-style-type: none"> ・あめのぼすていりゅうじょで(8) ・はなさきやま(8) ・めざましどけい(6) ・えはがきときって(5) ・かいがら(5) ・ひきがえるとろぼ(5) ・まどがらすとさかな(5) ・よわむしたろう(5) | <ul style="list-style-type: none"> ・てじなし(7) ・ぶらんこのりとびえろ(7) ・あおのどうもん(6) ・うばわれたじゅう(6) ・ぎんのしょくだい(5) ・そのおもいをうけついで(5) ・ひとふみじゅうねん(5) ・ろれんぞのともだち(5) | <ul style="list-style-type: none"> ・たびのきせつ(7) ・うらにわのできごと(5) ・につうのがみ(5) ・ことばのむこうに(4) ・そつぎょうぶんしゅうさいごの(4) ・にぎょう(4) ・ねつとしょうぎ(4) |

4. おわりに

本研究によって、令和5年度までに使用された令和2年度版※同一教材でも題名の異なる教材はカウントが区別される。小学校用道徳教科書と令和3年度版中学校用道徳教科書における内容項目や教材の取り上げ方の傾向が把握でき、また、平成30年度版小学校及び平成31年度版中学校用道徳教科書との変化が見えてきた。今後は、同一教材の表現の違いが実践にどう生かされるか等について研究を続けていく。

※本研究は、本学の上廣道徳・倫理教育研究開発推進室における取組の一つです。